

所属学科：物理情報科学科

氏名：山本 隼史

派遣期間：2017年2月21日～2017年2月28日

派遣先：台湾 国立清華大学

はじめに

台湾の国立清華大学の簡禎富教授の研究室を訪問した。本プログラムではゼミやミーティングなどへの参加、研究内容のプレゼン及びディスカッションを行った。以下に日程を示す。

21日(火)	移動、顔合わせ
22日(水)	簡禎富教授とのミーティング
23日(木)	プレゼン
24日(金)	ミーティング
25日(土)	学生との交流
26日(日)	学生との交流
27日(月)	簡禎富教授のお宅訪問
28日(火)	移動



図 1 工学部校舎



図 2 集合写真



図 3 寮

研究室訪問

清華大学は台湾で台湾大学、交通大学に次いで、3番目にランクの高い大学である。訪問先の研究室では主に半導体と画像処理の研究を行っている。学生は台湾だけでなく、中国やイラン、ベトナムからの留学生も在籍しているととてもグローバルな研究室である。

研究室へは1日8時間ほど滞在し、ミーティングへの参加、研究内容の発表を行った。ミーティングは学生だけのミーティングが週に3回、教授を含め

たミーティングが週に1回、計4回行われている。ミーティングは英語で行うこともあり、ディスカッションも積極的に行われ、午後11時までミーティングを行うこともあった。さらに、この研究室の学生は、自分の研究とは別にプロジェクトを1人1つ以上請け負っている。そのため、研究室には夜中までいる人もいた。

生活 文化

台湾滞在中は大学にあるゲストハウスに滞在した。部屋はとてもきれいで、10階だったため眺めも良く、自分の階にはスタッフも在中していたため快適だった。大学内にはフードコートが3つあり、中にはマクドナルドや台湾のチェーン店、セブンイレブンもあった。大学の外には台湾料理のレストランがたくさんあり、価格も日本の半分くらいととても安かった。

台湾では水道水を飲めなかったり、トイレトペーパーを流せなかったりと日本と違うことも多かった。

土日には研究室の学生たちと台北や九份、宜蘭などの観光を行った。台湾の寺院や、市場、夜市など、文化に触れることができとても良い経験になった。

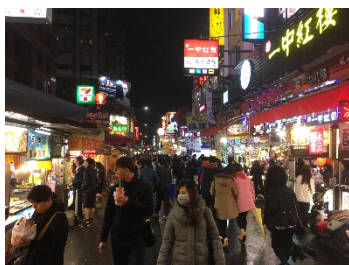


図4 夜市



図5 台湾料理



図6 九份

さいごに

今回の台湾滞在中では、海外の学生とお互いの研究についてディスカッションすることで自分にはない発想を聞くことができ、研究に行き詰った時に相談できる相手を作ることもできた。今後は台湾の学生たちの勤勉さを見習い、研究にさらに力を入れたいと思う。

お世話になった簡禎富教授並びに、研究室の学生方にこの場を借りてお礼申し上げます。